

日本社会薬学会 第43年会

<大会テーマ>

Uplifting the Whole People !
薬剤師による社会・公衆衛生への貢献

開催趣意書・募集要項

会 期 : 2025 年 9 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日)

会 場 : 和歌山県立医科大学 薬学部

年会長 : 岡田 浩 (和歌山県立医科大学 薬学部)

(2025 年 5 月 23 日版)

「日本社会薬学会 第43年会」 事業計画

1 趣旨及び目的

日本社会薬学会は、医薬品が持つ社会性、公共性を考慮し、医薬品を扱いまた使用する人々についての社会的課題、医薬品を必要な患者に届け安全に管理する制度、そして食品・化学製品・環境汚染物質など生命や健康に関連した物質についての課題などを解決するための研究や活動を通して、人間の生命と健康の維持に寄与し社会に貢献することを目的としています。これらの研究や活動の成果を会員だけでなく、広く多くの方に知っていただくために、年会を継続的に開催しています。令和7年度「第43年会」を9月6日（土）、7日（日）に、和歌山県立医科大学薬学部（伏虎キャンパス）で開催する運びとなりました。本年会のメインテーマを「Uplifting the Whole People！薬剤師による社会・公衆衛生への貢献」としました。地球環境の変化による自然災害の増加や格差拡大による社会の分断など、急速に進む社会の変化と混迷の中で、薬剤師と社会薬学に関わる我々が社会・公衆衛生に貢献できることは何なのかを議論する場にできればと思いこのテーマを選びました。特別講演、海外特別ゲスト講演、シンポジウム、ポスター発表などを通じて、新たな実践についての情報共有、意見交換、交流の場を提供します。

なお、本学会は、日本製薬工業協会が示す「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、抛出いただきました協賛金について、貴社が学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて同意致します。

2 主催機関および責任者

一般社団法人 日本社会薬会

日本社会薬学会 第43年会 実行委員会

年会長：岡田 浩（和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室 教授）

3 後援等（予定）

和歌山県薬剤師会 / 和歌山県病院薬剤師会 / 和歌山市薬剤師会

4 会期

2025年 9月6日（土）～9月7日（日） 2日間

5 会場

和歌山県立医科大学 薬学部

〒640-8156 和歌山市七番丁 25-1

6 大会事務局

日本社会薬学会 第43年会 実行委員事務局

和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室

〒640-8156 和歌山市七番丁 25-1

E-mail：scop.wakayama@gmail.com

7 参 加 対 象

日本社会薬学会会員及び学会趣旨に関心のある大学関係者、薬剤師、学生、生活者、
薬剤の供給、医療、栄養、運動等の業務に従事する者等

8 対 象 地 域 制限なし

9 開催計画の概要

- 1) 年会プログラム内容
特別講演、シンポジウム、一般演題（ポスター）、ワークショップ
- 2) 参加予定数 200 名程度
- 3) 会場使用計画
第 1 会場：大講義室
第 2 会場：301 号室
ポスター会場：302 号室

10 今後のスケジュール 2024 年 9 月 実行委員会の設置、開催地の決定
2024 年 3 月 年会基本構想及びスケジュールの構成
4 月 特別講演、シンポジウム等演者演題決定
広報開始、ポスター発表募集開始
6 月 開催準備、進行打合せ
7 月 詳細準備

11 大会役員一覧

年会長	岡田 浩	和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室
実行委員長	鈴木 渉太	和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室
	伊藤 達也	和歌山県立医科大学 薬学部
	江頭 伸昭	和歌山県立医科大学 薬学部
	山田 孝明	和歌山県立医科大学 薬学部
	民谷 繁幸	和歌山県立医科大学 薬学部
実行委員	神林 弾	昭和薬科大学薬学部
	西村 亜佐子	同志社女子薬学部
	廣田 憲威	大阪ファルマプラン社会薬学研究所
	川原 淳	株式会社アモール
	阪口 勝彦	エバグリーン廣甚 株式会社
	野村 洋介	和歌山県立医科大学 薬学部
	他	随時追加

12 収支予算書

収入の部(税別)

項目	金額	細目
事前参加費		
	¥350,000	会員(¥7000@50名)
	¥270,000	非会員(¥9000@30名)
直前・当日参加費		
	¥450,000	会員(¥9000@50名)
	¥220,000	非会員(¥11000@20名)
	¥20,000	学生(¥1000@20名)
協賛 企業展示	¥210,000	¥70000@3社
協賛 広告掲載費	¥240,000	¥30000@8社
協賛 ランチョンセミナー	¥550,000	¥550000@1社
協賛 寄付	¥100,000	¥50000@2社
学会本部補助金	¥300,000	
計	¥2,710,000	

支出の部(税別)

項目	金額	細目
会場費	¥600,000	大講義室、301,302他
設営費	¥500,000	外注
講師謝金等	¥450,000	講師15名
交通費	¥240,000	講師等
役務費	¥200,000	スタッフアルバイト
要旨集作成費		
印刷費	¥420,000	要旨集500部
Webシステム	¥150,000	要旨集ダウンロード(外注)
会議費	¥20,000	演者、スタッフ打ち合わせ
通信費等	¥50,000	郵送料
予備費	¥80,000	
計	¥2,710,000	

日本社会薬学会第 43 年会協賛のご協力について

以上の日本社会薬学会第 43 年会の趣旨についてご理解を賜り、ぜひ協賛のご協力をお願い申し上げます。

1. 大会概要

大会名称 日本社会薬学会第 43 年会
開催期間 2025 年 9 月 6 日(土)、7 日(日)
会 場 和歌山県立医科大学 薬学部
〒640-8156 和歌山市七番丁 25-1
年会長 岡田 浩 (和歌山県立医科大学 薬学部)
参加人数 200 名～

2. 募金の目的

日本社会薬学会第 43 年会開催のため

3. 募集期間

2024 年 11 月 1 日～2025 年 9 月 7 日

4. 寄付金の使途

日本社会薬学会第 43 年会の準備及び運営の費用とする

5. 募集内容募集締切日

募集項目	募集締切日 (予定)	金額(募集数)
1. 共催セミナー	6 月 30 日(月)	ランチョンセミナー 550,000 円 (2 枠) お弁当代実費別途請求 スポンサードセミナー 300,000 円 (1 枠)
2. 企業展示・書籍展示	6 月 30 日(月)	企業展示 77,000 円/1 小間 (10 枠) (180cm×60cm 程度、パネル、テーブルあり) 書籍展示 11,000 円/机1本につき
3. プログラム・抄録集広告	7 月 31 日(木)	表4(カラー) 150,000 円 (1 枠) 表3(カラー) 100,000 円 (1 枠) 表2(カラー) 100,000 円(1 枠) 後付 1 頁(モノクロ) 55,000 円 (10 枠) 後付 1/2 頁(モノクロ) 33,000 円 (10 枠)
4. 幕間広告	7 月 31 日(木)	静止画 110,000 円 (5 枠) 動画 165,000 円 (5 枠)

5. HP バナー	7 月 31 日 (木)	50,000 円 (5 枠)
6. 寄付金	9 月 7 日 (日)	一口 50,000 円～ 目標金額 1,000,000 円

6. お申し込みについて

以下のフォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

後日、請求書を発行いたします。振込口座は請求書をご覧ください。

<https://forms.gle/GV2qhr4e5XTvyYjG9>



7. お問い合わせ先（実行委員事務局）

日本社会薬学会 第 43 年会 実行委員事務局

和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室

〒640-8156 和歌山市七番丁 25-1

E-mail : scop.wakayama@gmail.com